

「夜明けのうた」

児童養護施設若松園 園長 津嶋 悟

人はいったい何歳ぐらいまで記憶をさかのぼれるものなのだろうか。

幼いころ、きょうだいができたことの嬉しさと同時に、母親を取られたかのような嫉妬心と不安感をないまぜにしながら縁側のカーテンに身を隠し、産まれたばかりの妹を居間で抱っこする母親の姿を見つめていた記憶がある。

ある時は、居間のコタツでうたた寝をしている間に両親が映画を観始め、モノクロの映画だったため何だか大人しか観てはいけないうような気がして、寝たふりをしながらも結局最後までこっそり観てしまい、感動のあまりコタツの中で声を殺しながらおいおいと泣いてしまった記憶がある。名作「ローマの休日」との出会いである。

記憶の始まりを思い返せば、浮かんでくるのは家の居間で家族と過ごした記憶が多いことに気づかされる。施設での生活を必要とする子どもたちは、大人になったときに自分の幼いころの記憶をどのように思い出すだろうか。

令和2年度を始期とする社会的養育推進計画（10年計画）もすでに3年目を迎え、児童養護施設に求められる小規模化・地域分散化・高機能化・多機能化に対して各施設の努力と苦悩が漏れ伝わってくる。そのような中において、当園は新年度大きな一歩を踏み出す。これまで中舎ホームとして使用していたものを小舎ホームへと運用規模を引き下げ、建築を進めてきた2か所目の「地域小規模児童養護施設」を新規開設し、子どもの養育環境を6ホームから7ホーム体制に拡充することで、より小規模で家庭的な養育スタイルへとさらに歩みを進めることとなる。

様々な事情により実家庭で暮らせなくなった子どもたちに、替わりとなる「おうち」を提供して暖かく迎え入れ、それが短い期間だったとしても親の代わりとなってめいめい愛情を注ぎ育てること、それが我々の仕事であり、役割であり、ひとりの大人としての生き方だと考えている。

この度、新規開設に至った地域小規模児童養護施設の設計にあたっては、なにより居心地の良い居間（リビング）の雰囲気づくりに注力した。自然と人が集い、各々が時間を共有する空間としての居間の果たす役割は大きい。ここで過ごした何気ない時間が、自身の生い立ちや幼少期の記憶の始まりとして刻まれ、よき故郷（ふるさと）のイメージとして構成されることを願う。

私はいつも、職員たちに、社会から求められている我々の役割（社会的養護の仕事）に誇りを持ってほしいと話している。世界で起きている戦争は「遠い国の話」ではなく、犠牲になるのはいつも子どもたちであることは日本の現状を見ても同じである。誰かがやらなければならないこの役割に対し、その大変さ、過酷さを知りながらも集まってくれた若松園の職員たちには、感謝の気持ちが心の底から湧き出てくる。混沌とするこの世の中の、子どもたちにとってあかるい「夜明け」に近いことを強く祈る。

そして、「施設を必要とする子どもがいる限りは歩みを止めるわけにはいかない」と気持ちを奮い立たせ、子どもにとって若松園が最良の「おうち」となるよう全員で力をあわせ、新しい年度を迎えたい。

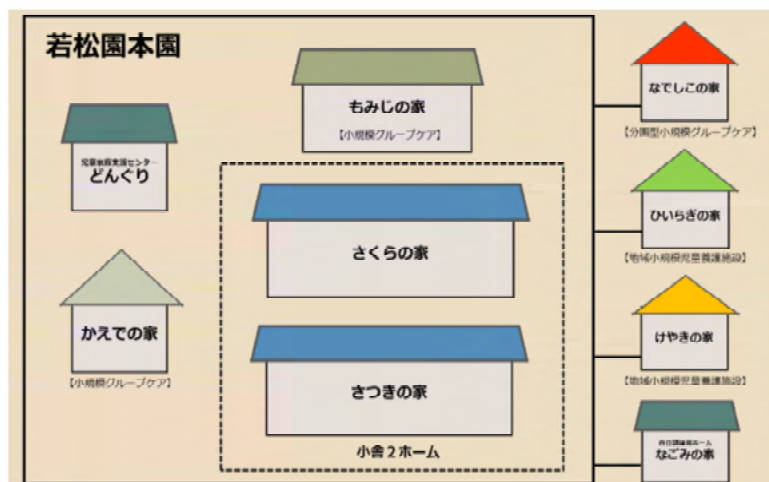
第43号
発行社会福祉法人
備作恵済会 若松園

〒703-8261

岡山市中区海吉206番地

TEL (086) 277-2261 (代)

FAX (086) 276-6925

<http://www.wakamatsuen.or.jp/>

令和4年度 若松園 概要図



新ホーム「ひいらぎの家」（地域小規模児童養護施設）

わかまつNEWS

2021年夏は東京オリンピック、今年の冬は北京オリンピックが開催され、たくさんの日本人選手がメダルを獲得し、若松園もたくさんの感動、そして夢と希望で溢れました。

若松園には無限の可能性を持っている子どもたちがたくさんいます。そんな子どもたちの『最近こんなことを頑張ってるよ』『こんなモノにハマってるよ』『こんな資格取ったよ』『こんな賞を獲ったよ』を紹介します。



漢字検定

令和4年2月、漢字検定があり、今回は子ども16名、職員5名が受験しました。

いつもは子どもだけが受験しているのですが、今回は子どもたちに負けじと職員も挑戦。

一緒に勉強をしたおかげで、合格者多数!!

努力はきっと報われる!



おいしゅうな〜れ

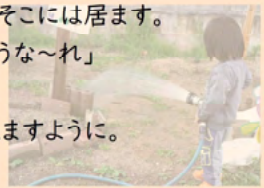
若松園の並木道の上にある農園をご存じですか？土を耕し、苗を植え、毎日の水やり、経過観察…。

農夫顔負けの男の子たちがそこには居ます。

「大きゅうな〜れ、おいしゅうな〜れ」

そんな声が聞こえてきそう。

たくさんの収穫報告が出来ますように。



目指せ、真夏の大冒険!

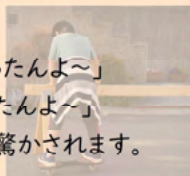
年が明けてから園庭で子どもたちが必死に練習し、ハマっているモノ…『ジェイボード』。初めは支えがないと滑ることが出来なかったり、転んだり…

でもいつの間にか

「先生見てや〜曲がれるようになったんよ〜」

「つかまらんでも乗れるようになったんよ〜」

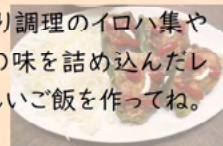
子どもたちの習得の早さにはいつも驚かされます。



料理

この春、6名の子どもたちが園を巣立っていきました。

若松園では自立訓練として、中高生を中心に食育ワークショップへの参加や実際に台所に立って調理経験を積みます。一生懸命調理する姿をたくさん見ることが出来ました。卒園時には栄養士より調理のイロハ集やけやきの家の男の子にはホームの味を詰め込んだレシピ集をプレゼント。たくさん美味しいご飯を作っね。



こんな意見も…

子ども

- 工作、ミサंगा作り ○カードゲーム(トランプや花札)
- ゲーム…土日は毎週熱い戦いが繰り広げられています。
- 釣り…先日鯛を釣ってきて鯛めしを作りました。
- ウォーキング…先生と一緒に20km!!
- 女子力磨き!
 - ・髪の毛命!洗面所は毎日大渋滞
 - ・好きな人のためにお菓子作り

職員

- 楽しい生活が送れるように人生のエッセイを読んでいます。→ぜひ子どもたちにも教えてあげてください♪
- 観葉植物を育てる。お話が出来るんですよ!(N先生)→庭のお手入れお願いします♪
- アンチエイジング!子どもたちと動画を観ながらエクササイズ!!なかなか続きません(笑)

こんな資格取りました!

- ・2級ボイラー技士資格…きらきら42号で紹介した男の子です!見事合格!おめでとう!
 - ・漢字検定…初めて受験した小学2年生の男の子や念願の準2級に合格した女の子もいました。
 - ・数学検定準2級 ・保育検定4級 ・被服製作検定3級 ・食物調理検定3級
 - ・公認心理師…若松園の心理士T先生。子どもたちと過ごしながらい日々猛勉強をして取得したそうです。
- これからいろんな資格試験にチャレンジしよう!大人も負けずに頑張らましよう!

全国児童養護施設協議会児童文化奨励絵画展

銅賞 受賞

幼稚園年長のHちゃんの作品が見事に全養協児童文化奨励絵画展において銅賞に輝きました!!

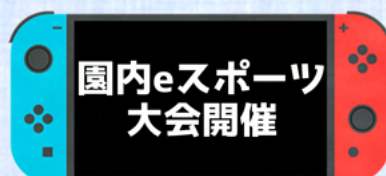
自分の描きたいものを書いたら良いよと伝えると「好きなものを全部描く」と言って、真剣な様子で取り組んでいました。

Hちゃんは、絵の具を使うことが今回初めて!色が混ざることやクレヨンの上から絵の具を使うと弾くことを知り、楽しみながら、のびのびと絵を描いていました♪

沢山の色を使いダイナミックな作品に仕上がりました。絵の具を上手に使い、お花や虹を綺麗に表現しています。今回の作品タイトルにあるようにHちゃんの好きなヒマワリやチューリップの花を色鮮やかに描いています♪



タイトル「お花がたくさん」



若松園で初となるeスポーツ大会を開催しました!!

eスポーツとは、エレクトロニック・スポーツの略称で、ゲームによる対戦をスポーツと捉えて「eスポーツ」と呼んでいるようです。

コロナ禍においても実施可能な子どもたちと楽しく過ごせる企画はないか職員たちで模索し、開催に至りました。開催日当日は、定期的に換気を行い、マスクの着用、アルコール消毒等コロナ対策を徹底して行いました。

巨大なスクリーンにプロジェクターでゲーム画面を映し出し、大画面、大迫力でのゲームを満喫しました。

午前は低学年の部、午後は高学年の部に分かれての開催。

低学年の部では、マリオカートをプレイ!

マリオカートでは、それぞれチームを作り、チーム対抗戦!!車のハンドルタイプのコントローラーを上手に使いこなし、レースをしていました♪



高学年の部では、大乱闘スマッシュブラザーズをトーナメント形式で行いました。

高学年の部では、職員も参加!

子どもも大人も本気で勝負!!

上手いプレイや珍しい技が出ると会場は大盛り上がり!

優勝は、高校3年生のO君!優勝したO君には、園長先生から景品の贈呈がありました。

なかなか終わりの見えない新型コロナウイルスへの対応ですが、感染リスクを最小限に抑えつつ、これからも子どもたちと一緒に楽しむことを見つけていこうと思います!



新任職員紹介

私は小さいころから裁縫が好きで、ミシンが得意です。約12年間スポーツをしていたこともあり、身体を動かすことが好きなので、子どもたちと一緒に走り回ったりして楽しい時間を過ごしていきたいと思います。

子どもと共に生活する中で、ぶつかり合うこともあると思いますが、真剣に向き合い、子どもたちが安心して頼れる関係性を築いていきたいと思っています。元気いっぱいの子どもたちに負けず、私も何事にも全力で取り組み、自分自身も成長していきたいです。

初めてのことでばかりで迷惑を掛けることもあると思いますが、園長先生をはじめ先輩職員の方にご指導いただきながら一生懸命頑張りたいと思います。よろしくお願いします。

保育士 塩田奈央

高校のころから子どもと関わる仕事につくという夢を抱いていました。たくさん子どもと関わり、楽しいことや嬉しいこと失敗したことを経験していく中で、信頼関係を築き、少しでも心の拠り所になれるような存在になりたいです。また、子どもだけではなく、周りの方々にも信頼してもらえるように精進します。日常の一つひとつの出来事を大切にして日々成長していきたいです。

最近写真を撮るという趣味が出来ました、子どもの笑顔の写真や日常の瞬間をたくさん撮ることが出来たらいいなと思っています。得意なことでも苦手なことでも何事にも全力で取り組んでいきたいです。

環境が変化するので少し不安もありますが、新しい出会いがたくさんあるのでとても楽しみです。初めてのことでばかりで分からないこともたくさんあると思いますが、精一杯頑張りますのでどうぞよろしくお願いいたします。

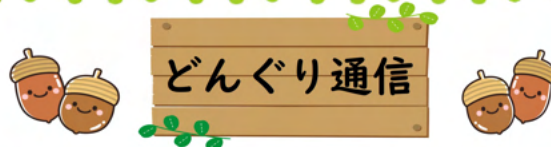
児童指導員 久山陽奈梨

私は昨年度まで大学で教育学を学ぶとともに、児童福祉施設にて支援員として働いてきました。その中で、卒業後は子どもたちと生活の中で寄り添い、成長をサポートしたいと思うようになり、今年度から若松園で働かせていただけることを大変嬉しく思っております。

私の趣味はスポーツで、サッカー部に所属していましたが、大学ではバスケットボールや野球など様々なスポーツを楽しんできました。若松園では体を動かすことや自分の体力や技術を高めることの楽しさを子どもたちとともに感じていきたいと思っています。

新しい環境の中で不安もありますが、園長先生をはじめ先輩職員の方々からたくさんのことを学び、信頼される存在になれるよう精一杯頑張ります。どうぞよろしくお願いいたします。

児童指導員 赤木宏紀



児童家庭支援センター「どんぐり」は、平成30年7月1日に事業を開始しました。

主な活動内容は、電話相談（24時間対応）、家庭訪問、来所での相談、心理療法（要予約）等多岐に渡ります。

令和2年度には、約2,600件の相談がありました。新たな取り組みとしては、富山公民館にて地域の保護者の方が参加される子育て（家庭内）悩み相談会（茶話会）を実施しています。

令和3年12月には、以前より地域の保護者から要望があった心肺蘇生法と異物除去法を若松園集会室にて実施しました。コロナ禍ということもあり小人数での実施となりましたが、6名の地域の方が参加してくださいました。実施後には保護者の方からの質問に答える時間を設け、有意義な茶話会となりました。

このような活動をする際には、お子さまたちは若松園保育室にて託児を実施できますので、安心して参加していただくことができます。

今後も、幼児安全法を実施（心肺蘇生法等）する予定です。無料で参加可能ですので、ご興味のある方は児童家庭支援センター「どんぐり」までお気軽にご連絡下さい！（TEL：086-237-7373）



『ごかしさん 御下賜金拝受のご報告』

令和4年2月21日(月)、児童養護施設若松園に対する御下賜金伝達式が岡山市役所にて執り行われ、
[理事長] 高月和紘と[園長] 津嶋悟両名が法人を代表して出席しました。

御下賜金とは、2月23日の天皇誕生日に際し、社会福祉事業奨励のため、事業運営が優良な民間社会福祉施設に対し、
天皇陛下が金一封を下賜くださるものです。若松園は昭和38年に一度下賜されており、60年ぶり2度目の栄誉となりましたのでここに報告させていただきます。

伝達式においては、岡山市長より「若松園は長年にわたり市の児童福祉を支えてきており、地域の中で家庭的な養育を進める環境づくりに努め、子どもたちの豊かな個性や自主性・自立性を大切にする取り組みは他の施設の模範となるものである」とこの度の拝受理由をお話いただきました。

これもひとえに、若松園をこれまで支えていただいた地域のみなさまをはじめ、各行政機関および関係機関・団体、
また当園がこれまで関わりをもった子どもとそのご家族のお支えにより奨励されたものと深く感謝申し上げます。

これからも、子ども一人ひとりの幸せと、子どもたちが安心して成長できる社会の実現をめざし、この栄誉に恥じぬよう役職員一同一層精進してまいります。



お知らせ

社会福祉法第82条の規定により、当法人では利用者からの苦情に適切に対応する体制を整えています。

当法人における苦情解決責任者、苦情受付担当者及び第三者委員を下記のように設置し、苦情解決に努めていますので、お気軽にご相談ください。

*若松園 苦情解決責任者 津嶋 悟

*若松園 苦情受付担当者 廣瀬 由貴
☎086-277-2261

<第三者委員>

*新見公立大学 八重樫 牧子
地域福祉学科 特任教授 ☎0867-72-0634

*主任児童委員 來住 久益子
☎086-274-7983

苦情解決委員会

今年度の苦情解決委員会につきましては、新型コロナウイルス感染防止の観点から書面にてご審議頂きました。

令和3年度における当園の入所児童と保護者からの苦情対応について特別な指示・指導事項はありませんでしたが、ご意見頂きました事項については改善に努めて参りたいと思います。

情報公開について

定款、現況報告・総括表、決算書、事業報告を若松園ホームページに掲載しています。ぜひ、ご覧ください。

また、ホームページにてブログを更新しています。

子どもたちの日頃の様子、園の取り組み等を紹介しておりますので、こちらもぜひご覧ください。

<http://www.wakamatsuen.or.jp/>

ご寄附・ご寄贈・ご奉仕・ご招待

敬称略・順不同
(令和3年4月から令和4年3月まで)

ご寄附

石川ゆきこ 上月義朗 西博
藤尾謙吉 福森寿 匿名
株式会社Kouken 大山亮
国際ソロプチミスト西大寺
にしき自動車興業株式会社
社会福祉法人山陽新聞社会事業団

ご寄贈

小島秀二 井上正樹 加藤保幸 原田恭
佐藤真央 松本和義・陽子 藤家有加子
近藤倫正 石井始 高野吉司子
豊田榮一 石井節子 矢代須直
石井公彦 皿井征四郎・京子 西博
松岡優子 森里子 西尾晴美 葉山朝子
田上愛里 荒島敏博 妹尾五月 赤井藤子
平井在佳 田村敦肖 神崎史朗 山本明加
池神和子 加藤律子 村上麻衣
藤田優子 西井智春 池神愛海
岡田英薫 成川彰浩 田村良雄・真知子
中田一成 長田洋和 桃太郎
羽場美知子 鈴木真知子 岡田幸仁
成田正康 伍賀小夜子 井上雅章
横尾真佐枝 長泉寺住職 宮本龍門
河本準一 テスタ
片山東眼科医院 片山望
NOHEROES 山田晋司
PIZZERIA LIBERTA 藤原優輝
デザインルーム小倉 小倉敏子
株式会社Camelliaカメリア 谷山福孝
ありさんプロ株式会社 代表取締役 吉田明廣
日本鏡餅組合 理事長 樋口元剛
セイエル労働組合 執行委員長 中西貴雄

株式会社イオンフアンタジー ハートフルツアー事務局 大塚永子
TAFKO MAGICメイクレッスアカデミー 村上妙香
株式会社イーストウインドカンパニー 代表取締役 平田敏治
株式会社トータルデザインセンター 代表取締役 上村祐貴
一般社団法人岡山県トラック協会青年協議会 会長 政岩卓
株式会社源吉兆庵ホールディングス 代表取締役 岡田憲明
東京経済大学 全学共通教育センター准教授 大久保奈弥
株式会社シグナルプラス 代表取締役 西村雄祐
有限会社山本水産運送 代表取締役 山本新吾
コノヒトカンプロジェクト 代表 三好千尋
有限会社福富建設 代表取締役 後藤正弘
株式会社岡三食品 代表取締役 田所雅江
株式会社いろは堂 代表取締役 高谷昌宏
おかやまコープ虹の会 会長 秋山秀行
テンパーティ 代表幹事 藤本久行
株式会社荒木組 代表取締役 荒木雷太
オハヨー乳業株式会社 株式会社大町
芥子山勇気 株式会社飛竜
株式会社藤和 株式会社明治 西日本支社
いなば食品株式会社 株式会社フレール館
株式会社兵左衛門 岡山県農業協同組合中央会
全農岡山県本部 株式会社日本テレビアート
株式会社岡山丸果 株式会社川野太商店
木徳神糧株式会社 シモハナ物流株式会社
株式会社魚宗フーズ 株式会社イサミ
株式会社建美装社 株式会社井ゲタ竹内
加藤産業株式会社 三菱食品株式会社
国分西日本株式会社 共栄火災海上保険株式会社
凸版印刷株式会社 一般社団法人日本海老協会
串もん屋七幸 タリーズコーヒージャパン株式会社
一般社団法人かすがい 57JPN合同会社としてのぶさん家の粉
最上稲荷総本山奉賛会 俺たちプロレス軍団(OPG)
岡山市農業協同組合 営農部園芸課
国際ソロプチミスト岡山 国際ソロプチミスト西大寺
カーブス平井店 カープス西大寺Aコープ店
カーブス岡南店 カープス平島サ・ビッグ店
カーブス真備ニシナ店 カープス邑久ゆめタウン店
フルーツ農園 阿知版画工房

ご奉仕

ご招待

芦田圭子 株式会社トータルデザインセンター
阿南智子 有限会社 森上煙火工業所
砂川にい女 特定非営利活動法人 未来へ
四宮照江 株式会社 大町
岸本弘恵 トライフープ岡山
藤原政子 B&G海洋センター
本同章子 一般社団法人かすがい
石原知子 株式会社ベネッセホールディングス
吉澤佳子
松本フミ
庄田恵子
柿本智美
岡本智美
高田和昭
横林美加
松岡優子
守屋寛
山本満理子
越智多圭子
坂井郁子
カドキヘアシェイパー
俺たちプロレス軍団(OPG)
トライフープ岡山
学習ボランティアサークルwithh
一般社団法人ぐるーん
株式会社アフローズ



編集後記

コロナがなかなか収まらず、当たり前が当たり前でなくなっているこの世の中…。しかし、今年度も子どもたちと変わらず明るい毎日を送ることができるよう、笑顔の渦でいっぱいになりたいと思います。
(編集員一同)

「きらきら」に対する御意見、御感想がありましたら、ぜひ下記のメールアドレスまでお寄せ下さい。

また若松園に対する質問もこちらのアドレスまでお願いします。

sbw206@ceres.ocn.ne.jp